

2022年7月29日

市川市長 田中 甲 様

日本共産党市川浦安地区委員会

日本共産党市川市議団

新型コロナウイルス感染「第7波」を抑えるための緊急要請

市長は、7月8日市の公式ホームページのコメントで「夏休みを迎え、人と人との接触機会の増加が予想されることから、改めてマスクの着用や手洗い、三密の回避、室内を定期的に換気するなどの基本的感染防止策を徹底していただくようお願いいたします。のどの痛みや発熱など少しでも体調が悪い場合は、外出や移動を控え、医療機関に電話した上で、すぐに受診しましょう。」と呼びかけています。

第7波は、市内においても感染増加傾向は顕著であり、高齢者施設、学校、保育園などでも感染拡大しています。夏休みに入っているにもかかわらず学校での感染拡大は、部活動などによるものだと義務教育課から伺いました。今回の「BA・5」は、感染力は非常に高いが軽症だと言われますが、高齢者や基礎疾患がある方は重症化のリスクも高く、家族への不安は計り知れません。過去最大と言われる感染者が出ているにもかかわらず、検査体制や濃厚接触者への対応は、不十分と言わざるを得ません。このままでは、幾度となく繰り返されてきた感染拡大の大波によって市民の命と健康、地域経済に深刻な影響をもたらすことは避けられません。よって、感染リスクを最小限に抑え込みながら、日常の社会経済活動を可能とするために、以下の事項について緊急に要請するものです。

【要望事項】

- 1、市としてこれまでの教訓をいかし、感染急拡大を最小限に抑えるための対応・対策を市民に直ちに示すこと。
- 2、県からは、保育園で感染者が出た場合、濃厚接触者を追わないと言われているが、現場では混乱している。年齢の低い園児はマスクが出来ないし、離れて過ごすことも不可能である。これまでのように濃厚接触者には、一定期間自宅待機などで感染拡大にならないような手立てをとること。
- 3、希望者へのワクチン接種と併せた無症状者への徹底したPCR等検査を進めること。
- 4、人流の抑制に伴う営業制限・自粛要請への十分な協力が得られるよう、飲食店、観光業者及び関連業者への十分な補償を準備しておくこと。
- 5、予約なしでワクチン接種を受けられる集団接種会場を8月2日から市内に新設することについて、市民への周知を早急にすること。また、状況によって受けられる人数の拡大も検討すること。
- 6、市独自で行えないものについては、県や国に直ちに要望すること。

以上